

令和6年度第2回上下水道経営審議会 会議録

○日 時 令和6年7月5日（金）午後1時半から2時半まで

○場 所 深川市役所 3階大会議室

○出席者 坪田 邦光 委員（深川商工会議所）＜会 長＞
岩倉 恭子 委員（深川地区町内会連合会）
北村 幸吉 委員（深川地区町内会連合会）
飯島 町子 委員（一已地区町内会連合会）
平澤 利幸 委員（納内地区町内会連合会）
水野 寛 委員（音江地区町内会連合会）
清水 正勝 委員（多度志地区町内会連合会）
浜淵 久子 委員（深川消費者協会）

深川市長 田中 昌幸

○事務局 建設水道部長 藤井 紀久也
上下水道課長 美口 英憲
上下水道課主幹 安井 仁
庶務係長 大野 竜次
庶務係 大山 雅美
庶務係 小田 幸恵
業務係長 小林 慎治
工務係長 加藤 智幸

○会議内容 諮問 下水道使用料の見直しについて
報告第1号 下水道施設の現状と老朽化対策について
報告第2号 下水道事業（公営企業）会計について

1 開会	<p>「令和6年度第2回上下水道経営審議会」開会</p> <p>* 事務局より、委員12名のうち出席8名で過半数に達したため審議会が成立している旨報告</p>
2 会長挨拶	<p>坪田会長より挨拶</p>
3 議事	<p>【諮問事項】</p> <p>「下水道使用料の見直しについて」</p> <p>田中市長より坪田会長へ諮問書の交付</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) 下水道施設の現状と老朽化対策について</p> <p>(2) 下水道事業（公営企業）会計について</p> <p>* 事務局より、資料「下水道施設の現状と老朽化対策について」及び資料「下水道事業（公営企業）会計について」に沿って説明</p>
委 員	<p><質疑応答></p> <p>諮問の中で、下水道使用料を26年間改定していないということで、これからどんどん施設を直すなど色々なことでお金が足りなくなっていくことから、料金改定が必要との説明をいただきましたが、使用料が1市4町の中でも一番下に位置しています。深川が安いと知って、深川のほうが高いと思っていましたが勘違いだったのかなと感じました。それから、下水道・上水道も生活するうえでとても大切なので、修繕したりする中で、どれくらいの料金改定になるのか心配です。資金がなくなっているということもよくわかりました。これからは大変なのかなという感想を持ちました。今後の使用料改定に対する市の考え方についてお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>現在、下水道使用料が北空知1市4町の中では安価となっておりますが、必ずしも安いことが良いことではなく、経営状況がますます悪化している状況で、事務局としても使用料の改善が必要と考えております。また、これ以上の使用料の先延ばしについても次の世代に大きな負担となることが想定されているため、今回の見直しによりある程度負担増を考えていかなければならないと考えております。</p>
委 員	<p>基本的なことを再確認しますが、使用料改定が必要な理由を教えてください。</p>
事務局	<p>下水道事業は、「雨水公費・汚水私費」という原則に則り、雨水の処理にかかる費用は一般会計などの公費で、汚水の処理にかかる費用は一部の費</p>

用を除き、下水道使用者が使用した水量に応じて支払うこととされています。しかしながら、現行の使用料水準では毎年度、収支に不足が生じており、一般会計で補填している状況が続いております。

このような状況を改善し、独立採算に基づく安定的かつ持続的な下水道事業を運営するために、下水道使用料の改定を行うものです。収益的収支では毎年約1億円の赤字決算となり、この1億円を使用料収入で賄いたいと考えております。

委員 1億円の増収を目指すとのことですが、どの程度の改定になるかお答えいただきたいと思っております。

事務局 現在、3億円程度の使用料収入があります。単純に1億円増収となると約3割超の改定となり、現在、全道の市のなかでは16番目の位置にいますが、3割の値上げとなると35市の中ではかなりの上位になると想定されます。また、北空知1市4町でも、上位に位置することになります。

増収を想定した、使用水量をシミュレーションすると、現在の使用料から必ずしも全員が3割の負担増になるとは限らず、一律に3割増とはならないと想定されますが、次回の審議会では、どの程度の負担を求めるかについて、詳細なシミュレーションをおこない、数パターンの中からより良い案を選定していただくこととなります。

委員 広報に掲載されていますように、毎月のように人口が減っていて、3年後にはもっと減ると思っております。件数が減ることによって比率、一人ひとりの負担割合が増えると思っておりますが、どの程度負担が増えるかの見通しについて教えていただきたいと思っております。

事務局 人口問題研究所という国の機関から、深川市の人口の将来のシミュレーションが出ていまして、それに伴い料金収入も下がっていくことがわかります。また、維持管理費に関しては、資材費の高騰、人件費の高騰、これらもシミュレーションの中に入れて、処理場・管渠の修繕でおよそ年間2億5千万円ほどかかってくるのが想定されます。そのうえで、使用料収入をどうしてもあげなければいけないと事務局として考えております。

委員 使用料を上げるときに、市民が納得できるような説明をお願いしたいです。下水道があることで快適な生活ができるけれど、それなりの費用が掛かっているし、水道にしてもひねれば水が出るのが当たり前ではないということを市民に知ってもらい、ただ料金が上がりましてではなく、市民も水の使い方について考えられるよう周知いただきたいと思っております。

事務局 公共料金が上がるとなると反発もあると思いますので、時代の背景も踏まえて、納得いただけるよう説明していきたいと思います。

委員 話は少し変わりますが、汚水柵の周りの縁が砕けてきている部分について、修繕はどのように進めていく予定ですか。舗装が削れているところもあり、お年寄りはずまずいて転んでしまうから対応いただきたいと思います。市の方で巡回し対応して欲しいです。

事務局 ほとんどが除雪によって壊れた部分で、ひどいものについては交換を行っていきます。場所を教えていただければ対応いたしますので、ご連絡いただければと思います。舗装については道路の管轄になりますので、都市建設課の維持管理係へお伝えいただきたいです。連携して対応したいと思いますが、市道もかなり長く、すべてを巡回して点検するとなると、かなり時間がかかり、職員も足りない状況ですので、ご理解いただければと思います。

委員 これまでの話の中で、使用料値上げはやむを得ないという皆さんの意見だったと思いますが、現在またはこれからどのような経営努力を行って、料金改定に対応していくのか市の考えを伺いたいと思います。

事務局 現在または今後の経営努力についてですが、次の4点を考えています。先ほどお話もありましたが、マンホールや汚水柵を修繕することで、不明水を減らすことによる処理負担の軽減を計画的に直していきたいと思います。そのほか、使用料未納者の滞納整理、下水道施設の長寿命化による経費の削減、下水汚泥の農地還元が主な取り組みになります。

* 事務局より、次回の経営審議会の内容について説明

4 閉会

坪田会長 「令和6年度第2回上下水道経営審議会」閉会
本日の審議においては、目標増収額を“一億円程度”に設定することについて、皆さんにご理解いただけたと思います。次回はより具体的な料金設定について事務局からの提案があるものと思われます。それでは本日の審議会を終了したいと思います。